

第24回建設業経理士検定試験 1級財務分析

【第1問】 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

	10	20	25
	建設業の資産の構造の特徴として、総資産に対する固定資産の構成比が他産業に比べて著しく低く、これに対応して流動資産の構成比が高いことが挙げられる。その主な原因は、未成工事支出金が巨額であるためである。		
5	建設業では、未成工事支出金が巨額となるが、それは受注工事を前提とする請負工事によるものであるため、これに対応して未成工事受入金も巨額となる。そのため、総資本に対する流動負債の構成比も高く、固定負債の構成比は低くなる。また、総資本に対する自己資本の構成		
10	比が低く、特に資本金の構成比が低い事が挙げられる。		

問2

	10	20	25
	建設業の収益・費用の構成の特徴として、完成工事原価の構成比が高く、なかでも外注費の構成比が高いことが挙げられる。建設業では、請け負った工事ごとに数多くの工事を専門とする下請業者に発注し、その下請業者に		
5	完成を依存することが多くなるため、外注費の割合が高くなる。また、卸売・小売業のように販売を業としていないため、販売手数料や荷造運搬費などが比較的少なく		
10	固定資産の構成比も相対的に低いことから減価償却費も少なく、販売費及び一般管理費の構成比が低い。さらに社債などの固定負債の構成比が低く、金融費用が少ない。		

【第2問】

記号（ア～ノ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ	ア	キ	ニ	ス	ト	ナ	コ	セ	イ	オ

第24回建設業経理士検定試験 1級財務分析

【第3問】

- (A)

		1	7	7	6	0
--	--	---	---	---	---	---

 百万円（百万円未満を切り捨て）
- (B)

		1	8	0	0	0
--	--	---	---	---	---	---

 百万円（同 上）
- (C)

		1	0	8	0	0
--	--	---	---	---	---	---

 百万円（同 上）
- (D)

				7	4	0
--	--	--	--	---	---	---

 百万円（同 上）

立替工事高比率

2	5	2	5
---	---	---	---

 % （小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

【第4問】

- 問1

		2	6	4	0	0
--	--	---	---	---	---	---

 千円（千円未満を切り捨て）
- 問2

		1	5	9	1	3
--	--	---	---	---	---	---

 千円（同 上）
- 問3

		1	8	6	1	8
--	--	---	---	---	---	---

 千円（同 上）
- 問4

		2	9	4	0	0
--	--	---	---	---	---	---

 千円（同 上）
- 問5

		3	8	8	0	0
--	--	---	---	---	---	---

 千円（同 上）

【第5問】

問1

- A 自己資本事業利益率

2	9	9	0
---	---	---	---

 % （小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）
- B 当座比率

1	7	5	0	4
---	---	---	---	---

 % （同 上）
- C 付加価値率

1	7	0	1
---	---	---	---

 % （同 上）
- D 経営資本回転率

1	4	2
---	---	---

 回 （同 上）
- E 運転資本保有月数

3	2	6
---	---	---

 月 （同 上）
- F 完成工事高増減率

0	3	4
---	---	---

 % （同 上）
- G 借入金依存度

1	9	3	9
---	---	---	---

 % （同 上）
- H 完成工事高キャッシュ・フロー率

4	6	3
---	---	---

 % （同 上）
- I 支払勘定回転率

3	8	5
---	---	---

 回 （同 上）
- J 純支払利息比率

0	1	5
---	---	---

 % （同 上）

問2

記号（ア～ハ）

1	2	3	4	5	6	7	8
エ	カ	イ	ク	セ	サ	ノ	ナ

【4の別解】オ